

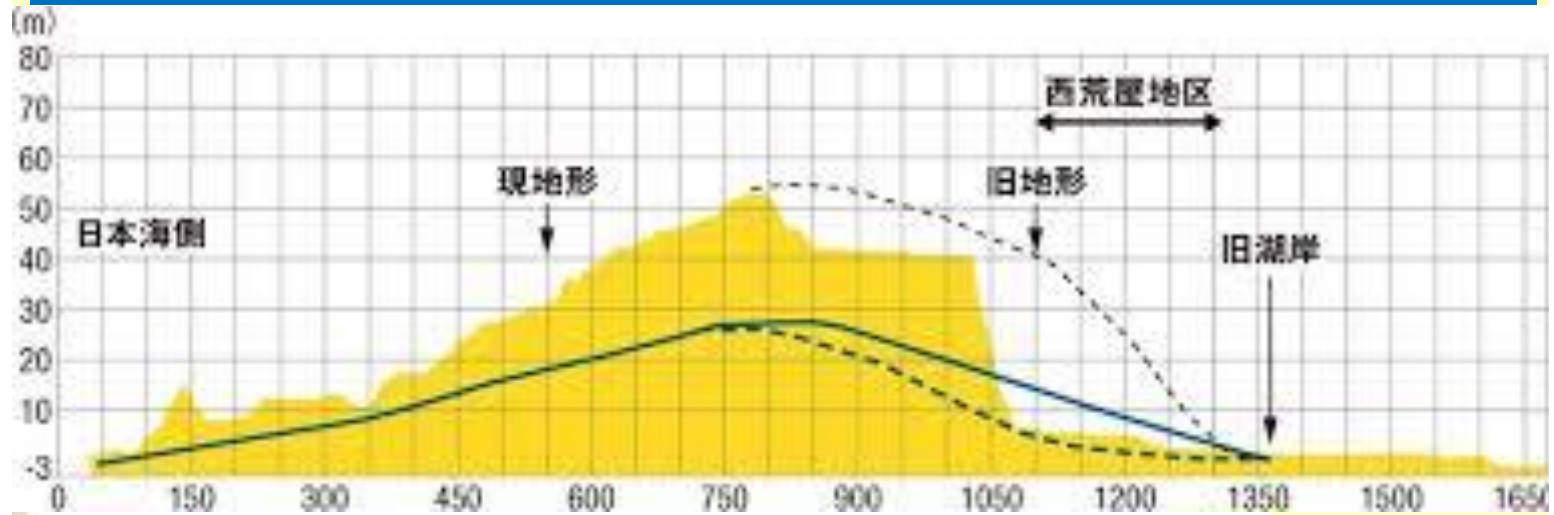
新建、座談会2024の資料 写真は単に紹介のみ、3~4分で済ます
能登半島地震視察5/30をうけ座談会7/06

- 関心事;多くある中で; (0)地盤液状化の側方流動の深堀
- (1)地盤 ;液状化予測・対策に加え沈下(不同)や上下動検討は
 - (2)設計法;2000年基準を超える何か必要か(複数強震、長継続)
 - (3)対地震;強度・剛性増もいいが制振装置設置は
伝統建造物の地震安全性には耐震見加えて制震
 - (5)施工 ;金物による断面欠損はいかに
壁内へは断熱材とともに木摺の挿入に工夫要

技術世論、市民に向け、過疎・格差を問題 2024年7月 togashi



■■ 内灘砂丘地盤変状



砂丘断面図

太点線は地下水位面

地盤変状

模式図

日経ハイテック

HPより

内灘砂丘地盤変状2

地下の液状化により →
砂丘稜線と平行に
複数すべり面生起
(画面中央左右に亀裂線、
視察時には亀裂線消滅)

↓液状化、西荒屋 神奈川新聞より



→
家傾斜
室内
片付く



内灘砂丘地盤変状3

→
地盤隆起

RC3f建て、基礎杭で建物は
定位置、周りの地盤が隆起 ↓



■ ■ 土台・基礎部の崩壊が主因の上屋被害

喜兵衛どん(博物館)
石積基礎、石積壁の崩壊
→上屋が崩壊石積壁
方向に沈下



■ ■ 高さ方向剛性不均衡 の被害

2F建1F崩壊,
2Fに対し
1F剛性低。
1Fにしわ寄せ、
崩壊は仕口に



■ ■ 無被害、小口径杭打設、正院

正印、被害概要;ほぼ全棟が被害。
三軒のみ無被害、津波は浜辺で停止
地震以降も居住。

無被害理由;小口径杭(二十数本)打設
建築主の耐震知識活用で現場に指示
(市民への働きかけ重要を再認識)



■■ 無被害と有被害 が隣接

新しい建物、古くても健在、
町家で隣家のありあるが。
↓珠洲 吉久→
氷見↓



■ ■ 制震ダンパー設置

DIY地震対策

制震ダンパー
コラボパワー



寺院床下に設置
by善行寺パンフ
限界耐力設計をしないと
ダンパ設置できず、ではなく
設置可能

←左の2写真 住宅用ダンパー
by制震ダンパーHPより